

## 中学校 第2学年 道徳学習指導案

- (1) 主 題 思いやりの心
- (2) ねらい 少女が、「ふたたび、声もなかった」時に考えていたことを話し合う中で、人に温かい心を届けるよさを感じ取り、知り合いではない人に対しても思いやりの心を発揮しようとする心情を養う。2-(2)
- (3) 資 料 「夜の果物屋」杉みき子 『小さな町の風景』偕成社 1982年 PP.50-55 所収)
- (4) 学習過程

学習活動・学習内容	子どもの心の動き	指導上の留意点( 評価)
1 人に親切にした経験について発表する。 ・ 親切・思いやりに対する関心 ・ 学習課題 (10)	・ 保健室に連れて行くとよい ・ 宿題を見せるのは親切か？ ・ いきなり言われてもなあ... ・ 忘れ物を貸したことはある ・ 親切にするのはなかなか難しいし、恥ずかしいよね。	友達が困っている場面絵を示し、過去に人に親切にした経験を想起させ、価値への関心を高めるとともに、本時の学習課題をつかませる。
<b>学習課題...親切・思いやりについての「自分なりの考え」を深めよう。</b>		
2 資料を読んで話し合う。	・ 図書館に本があったよ。	全文一括。場面絵添付。
<b>発問1</b> ...店のおばさんから営業延長の経緯を聞いた少女が「声もなかった」とき、どんなことを考えていただけるか。できるだけ多くの思いを出し合ってみましょう。		
・ 多様に思いを想像すること ・ 気持ち、思いの類別 ・ 自分の考えとの異同 (20)	・ まさか私のために... ・ ありがとう。うれしい。 ・ 迷惑をかけた。申し訳ない。 ・ 知らない人に対して親切にされることに驚いていた。 ・ 最近姿が見えないことを気にしてくださってるなんて	経験想起や立場の置き換えを促し、個々の考えをプリントに書かせる。「どの考えに近いか」「どんな点が違うのか」などを問い返し、自他の考えの異同に関心を高める。
<b>発問2</b> ...導入のみなさんの気持ちや行為と店のおじさん、おばさんの気持ちや行為の違いはどんなところでしょうか。		
<b>【自分たち】</b> ・ 友達にさえなかなかできない。しない。 ・ はずかしい。面倒。 <b>【店のおじさん、おばさん】</b>	・ 自分たちは、普段親切について考えたことがない。 ・ 友達にもあまりしないし、はずかしい。面倒。 ・ おじさん、おばさんは、全	導入時の板書と発問1に対する発言を対比させるとともに、教師が、一人ひとりの考えを積極的に受容し、他の友達に広げ

<ul style="list-style-type: none"> <li>知らない人にして</li> <li>さりげなく（相手に気づかれずに）している</li> </ul> <p>(10)</p> <p>3 自分の生活を振り返ってプリントに書く。</p>	<p>く見ず知らずの人のために親切にしようとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>さりげない心遣いだ。</li> <li>そんな親切・思いやりは、魅力的だし、できるかも...</li> </ul>	<p>ることで、思いやり・親切に対する思いを深めさせる。</p> <p>それぞれを短い言葉で表し学習内容を明確にする</p>
---	--	--

**発問3**...親しくない人、知らない人に対して、さりげない「気遣い」「心配り」をされた経験を思い出したり、今後できそうなことを考えたりして、プリントに書いてください。また、今日の授業の感想を書きましょう。

<ul style="list-style-type: none"> <li>自分なりの具体的な親切や思いやりの行動について考えること</li> <li>思いやりの心をもって生活しようとする気持ちの高まり</li> </ul> <p>(10)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>なかなか思い出せないよ。</li> <li>登下校の見守り隊の方や自治会・子供会の人にはいろいろ親切にもらった。</li> <li>それでも自分はなかなか親切にできないかも.....</li> <li>様々な思いやりや親切があるのだなと思った。店の人のようになれるかなあ。</li> </ul>	<p>最後に、印象に残った友達発言とその理由などを発表し合い、学び方を振り返るとともに、受容的な雰囲気高める。</p> <p>自分なりの具体的な親切や思いやりの行動について考えを深めようとしたか。</p> <p>(プリント)</p>
---	--	--

【板書計画】

朝礼貧血

裁縫出血

宿題を見せる

保健室に連れて行く  
忘れ物を貸す。  
あまりない。

親切にするのは案外難しい。恥ずかしい。

思いやりについて「自分なりの考え」を深めよう。

夜の果物屋 杉みき子  
(「小さな町の風景」)

場面絵  
二枚

少女が「声もなかった」とき、  
どんなことを考えていただろうか。

まさか私のために(驚き)  
知らない者・中学生のために(感謝)  
ありがとう。うれし。(お詫び)  
迷惑かけた。申し訳ない。  
最近姿が見えないことを気にして  
くださったってなんでも

今までの体験  
自分ならどう感じるか

自分たちの思いやり・親切との違いは？

【自分たち】

- 友達に対してもできない、しない。
- はさずかしい。面倒。求められてもしない。
- 【店のおじさん、おばさん】
- 知らない人におぼえる。
- さりげなくする。自ら進んでする。

今までの自分の生活や授業の感想を書こう。